

2021年度事業報告

特定非営利活動法人 丹のたね

I 事業期間

令和3年 4月1日～ 令和4年 3月31日

II 事業成果

今年度は、森のようちえん「里山ようちえんふえっこ」の活動に集中し、子どもたちが丹波の地の利を生かし自然いっぱいの中で非認知能力を高める機会を多く提供できた。

「里山ようちえんふえっこ」の活動については、別紙①に詳細を報告している。

また、来年度の4月から不登校児童含め一般的な既存教育環境を選択しない子どもたちのオルタナティブスクールである「里山楽校ふえっこ」の開校準備を行い、地域資源を活用し幅広いボランティアを集めながら、6歳以上の子どもたちの居場所を整備している。4月からの開校に向けて実施体制含め運営協議が行われた。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動にかかる事業

(1)事業名：里山ようちえん ふえっこ

内容：森のようちえん

実施場所：兵庫県丹波地区

実施日：基本的に平日の火曜日から金曜日、その他イベントあり

対象者：幼児とそのご両親、家族

収益：6,936,544

(2)事業名：里山楽校 ふえっこ

内容：オルタナティブスクール

実施場所：兵庫県丹波地区

実施日：平日の火曜日から金曜日、その他イベントあり

対象者：小学生、中学生、高校生

収益：無料開放

2 その他事業

該当なし

IV 事業の実施体制

1 会議に対する事項

① 通常総会

(日時) 令和4年5月29日(日) 17時00分～18時00分

(場所) 里山ようちえん ふえっこ拠点 花乃家にて

(出席者) 18名 (うち表決委任者2名、※正会員数8名)

(議事内容) 令和3年度 事業報告、決算報告の承認

令和4年度 事業計画の承認

② 理事会

4月理事会 令和3年4月5日18時～19時半 理事宅 議事内容：運営について

8月理事会 令和3年8月18日10時～11時 理事宅 議事内容：運営について

12月理事会 令和3年12月20日12時～13時 理事宅 議事内容：来年度の活動について
1月理事会 令和4年1月15日13時～14時 理事宅 議事内容：運営について

2 事務局体制

事務局長：竹岡正行

事務スタッフ：尾崎真理

3 会員

正会員 10名

賛助会員 23名

4 ボランティア

年間延べ 576人

5 連携グループ

- ・合同会社 丹波笛路村
- ・森のようちえん だろんこ園
- ・森のようちえん こころね
- ・山と畑のまるごと園

2021年度 NPO 法人 丹のたね 里山ようちえんふえっこ 活動報告

里山ようちえんふえっこは、山南町谷川にある笛路村、竹岡農園の敷地を活動拠点として毎日自然の中で遊んでいます。

散歩をして草花遊びをしたり、畑で育てている野菜を収穫、または食べられる野草を何種類も摘んで野外調理をしたり、夏には川遊び、冬にはたき火などをして、季節の遊びや手仕事、また木工製作など、自分達の身体や手を動かして遊び、幼児期に五感をつかって遊ぶことを大切にしながら活動しています。

○幼児クラス

立ち上げから3年目となり、活動内容や保護者を巻き込んだの行事など、固定化されてきたものも増えてきました。また子どもの人数も過去最多となり、子ども同士の関係性の中で様々な経験をすることができました。

【人数】 5歳児 5名、 4歳児 4名、 3歳児 3名 計 12名

【活動日、時間】 月曜日～木曜日 9:00～15:00

6年目となった親子クラスは昨年に引き続き、お母さんたちでやりたいことを共有しながら、代表のお母さんを中心として活動を進めています。季節の手仕事や野外調理などをしながら交流する場となっており、お母さん自身が楽しんで参加して、子どもたちも自然の中で思いっきり遊んでいます。

【参加組数】 12組

【活動日、時間】 第1, 2, 3金曜日 10:00～13:30

○芸術クラス

週4日、自然の中で感じ取った感性を発揮する機会を設けるために、芸術クラスを立ち上げました。室内で、お絵かきや絵の具などを使うなど、様々な素材や技法を使っでの製作や、生け花などの創作活動をじっくり行いました。

【参加人数】 4人

【活動日、時間】 第1, 3金曜日 9:00～13:00

○活動内容

【1学期】

(入園式、親子散歩、野草の天ぷら、泥んこあそび、田植え、ポーリングアート、染め物あそび、父親参観、遠足、梅の収穫、川あそびなど)

春は草花遊びを存分に楽しむことができました。シロツメクサの冠など年長児が集中して作れるようになり、それを下の子が見ていたり真似しようとする姿がみられ、異年齢ならではの関わりが見られました。今年度から、農園の敷地でお米作りをすることになり、田植え前の田んぼで全身をつかっの泥んこ遊びを思いっきり楽しむことができました。

また今年度初の試みで、お母さんを先生として招き、ポーリングアートという特殊な絵の具を使っての製作活動をしたり、父親参観としてお父さん方に広場の滑り台を作っていたいたり、保護者にも参加してもらいながらの活動を取り入れました。また村の方の敷地で梅の収穫をさせてもらい、脚立に登って梅をもぐ子、下で受け取る子、カゴや道具を運ぶ子など、年長児を中心に役割分担がなされていて、2年間の経験の積み重ねによつての姿だと感じました。

夏の川遊びでは生き物を探したり、沢登りをしたりしながら身体をつかって遊びました。遠足として、村を出て首切り地藏尊での川遊びや、近隣の山南中学の裏山に遊びに行くなどして活動場所を少しずつ増やしていています。



【体験イベント】

7月4日に、ふえっこの活動を知っていただくきっかけ作りとして、体験イベントを無料で行いました。親子で8組、子ども13名、大人11名の参加でした。

ジャガイモの収穫をしたあと、源流川あそびを楽しみました。また昼食時には、収穫したジャガイモをたき火で焼いて頂き、普段たき火などが身近でないお子さんは興味津々になって関わっていました。自然の中で作物や生き物に触れて、和気あいあいとした雰囲気で行うことができ、次年度の新入園にもつながっていきました。



【2学期】

(ボディペインティング、泡あそび、同窓会、月見団子作り、冬野菜栽培、親子登山、稲刈り、運動会、木工遊び、遠足、お泊まり保育、おもちつき、クリスマス会など)

2学期も保護者に参加していただく行事を取り入れました。その内の黒井城跡での親子登山は2年目となり、前年も一緒に登った保護者からは、お子さんの姿を見て昨年からの成長を感じたとの声もあり、継続していく事の価値を感じました。

稲刈りでは、1学期に田植えをしたものを刈り取り、稲木に干す作業も体験しました。

また年末のおもちつきでは、その時のもち米をついて頂く経験もできました。

秋にはお泊まり保育を実施し、野外調理でうどん作りなどをして夕食を作りました。また五右衛門風呂も自分たちで焚き、湯加減をみては火を調節するなどの姿が見られました。夜にはキャンプファイヤーや星空観察、翌日は山登りのレクリエーションなどを行い、友だちと過ごす1泊2日を楽しみました。





【3学期】

(雪あそび、味噌作り、アイス作り、遠足、お別れ会、卒園登山、卒園式)

例年より雪の降る日が多く、雪だるま作りやかまくら作りなどして存分に雪あそびを楽しむことができました。また遠足では、豊岡市の森のようちえん「つむぐり」さんとの交流で、活動場所の加陽水辺公園に行きました。雪がよく積っており、笛路村ではあまり出来ないソリ滑りを思いっきり楽しみました。

また、年長児の卒園製作として、製材などを使って自分のアイスを作りました。これまで経験してきたのこぎりや金づちを扱い、自分で作り上げることが出来た経験は自信に繋がったと思います。作ったアイスは卒園式で使用しました。

3月のお別れ会では、お母さんたちとスタッフによる劇「おおきなかぶ」を子ども達の前で披露しました。子どもたちに喜んでほしいとの想いで事前に集まって練習したり、それぞれが衣装を考えたりして、始めて大人全員で1つの物を作りあげる事ができ、子ども達も喜んでいて、大人同士の仲もより深まったように思います。

今年度初の試みで、年長児のみの卒園登山として親子で三尾山に行きました。3年間屋外で過ごし、散歩や山登りなどをたくさんしてきたので、1人も挫けることもなく、登りきることができ、一緒に過ごしてきた友達と一緒に最後に頑張り、思い出にもなったと思います。第2回となる卒園式では、幼児クラス立ち上げから3年間通った5名の卒園児を送り出すことができました。緊張しながらも嬉しそうに堂々と前に立つ子どもたちの姿もあり、保護者からのメッセージでも皆さん3年間の成長を喜んでおられました。





【年間を通しての活動】

○誕生会

それぞれの誕生月に、1人1人の誕生会を開きました。主役のお母さんの来ていただいて、その子産まれた時のお話などをしてもらいました。子どもたちが聞きやすいように、クイズ形式にしたり、写真をおりませたり、その子のエピソードを紙芝居にしたりと皆さん工夫してお話してくださいました。



○料理の日

月に1回のお料理の日として、お釜でご飯を炊き、自分たちで育てた野菜や農園の野菜を収穫して調理してお味噌汁を作る日を設定しています。後半に、年長児だけでご飯を炊くというチャレンジをして、お米を洗い水加減をみて、薪をくべて火をつけて炊き上げるまでの工程を子どもたちだけでやりきることが出来ました。3年間、たき火をして毎月同じ物を作る経験を重ねてきた事がしっかり活かされたように思います。



○おたより、ポートフォリオ

毎月月末に、全体に向けたおたよりと、個人の1カ月の成長の記録を書いて写真付きで保護者にお渡ししています。また保護者にもその月の家庭での様子などを書いて頂いてやりとりをしています。

【まとめ】

・幼児クラスは、年少から入園してきた学年の子どもたちが3年間通って卒園しました。入園から卒園までのカリキュラム、子どもたちの成長の様子やコミュニティの在り方などを大人も子どもも一通り経験することができました。行事の型なども決まってきたので、今後はこれまでの経験を活かしながらその年々に合わせての変更や改善をしていくようにしていきたいです。

・親子クラスは、お母さんたちのやりたいことを中心に、自然に関することや子育てのことなど、様々な情報を共有しながら、和気あいあいと過ごしています。干し柿など、季節の手仕事なども積極的に取り入れたり、お母さんたち手作りの夏祭りを催したりと、子どもたちが楽しめるように相談して進めていってました。

【今後の課題】

幼児クラスは、新年度の新入園児が2名で、全体としても園児数が7名になります。新年度の新しい取り組みとして、週1日だけ幼児クラスの活動に参加するクラスを開設しました。遠方などで毎日の登園は難しいご家庭でも、通いたいとの声が上がっているため、間口を広げて、自然の中で遊ぶ経験が出来る子を増やしていけたらと考えています。また親子クラスからの継続の入園にもあまり繋がっていないため、関わりをもちながら活動の様子を知っていただく必要があると考えています。

活動計算書

令和3年4月1日から令和4年03月31日まで

(単位：円)

科目	金額		
I. 経常収益			
1. 受取会費		5,907,100	
2. 受取助成金等		400,000	
3. 事業収益		576,300	
4. 受取利息	10		
5. 雑収益	53,134		
6. その他収益		53,144	
経常収益計			6,936,544
II. 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給与手当	2,409,461		
臨時雇賃金	711,050		
法定福利費	199,439		
人件費計	3,319,950		
(2) その他経費			
車両費	312,272		
通信運搬費	45,548		
支払保険料	106,580		
食材費	158,442		
消耗品費	180,807		
賃借料	450,000		
施設維持費	14,203		
雑費	151,194		
その他経費計	1,419,046		
事業費計		4,738,996	
2. 管理費			
支払報酬料	220,000		
減価償却費	168,744		
雑費	91,233		
管理費計		479,977	
経常費用計			5,218,973
当期経常増減額			1,717,571
III. 経常外収益			
経常外収益計			-
IV. 経常外費用			
経常外費用計			-
税引前当期正味財産増減額			1,717,571
法人税、住民税及び事業税			-
当期正味財産増減額			1,717,571
前期繰越正味財産額			▲ 1,453,256
次期繰越正味財産額			264,315

貸借対照表

令和4年03月31日現在

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,871,121		
積立金	6,000		
短期貸付金	1,000,000		
流動資産合計		2,877,121	
2. 固定資産			
有形固定資産			
建物附属設備	1,012,512		
有形固定資産計	1,012,512		
固定資産合計		1,012,512	
資産合計			3,889,633
II. 負債の部			
1. 流動負債			
1年以内返済長期借入金	797,000		
未払費用	225,000		
その他流動負債	45,318		
流動負債合計		1,067,318	
2. 固定負債			
長期借入金	2,558,000		
固定負債合計		2,558,000	
負債合計			3,625,318
III. 正味財産の部			
前期繰越正味財産		▲ 1,453,256	
当期正味財産増減額		1,717,571	
正味財産合計			264,315
負債・正味財産合計			3,889,633

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1)固定資産の減価償却の方法 有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
 (2)消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費は特定非営利活動に係る事業のみであり、その他の事業はありません。

特定非営利活動に係る事業は保育事業のみであるため、事業ごとの区分はありません。

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物附属設備	1,350,000	—	—	1,350,000	337,488	1,012,512
合計	1,350,000	—	—	1,350,000	337,488	1,012,512

3. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
借入金	4,152,000	—	797,000	3,355,000

4. 役員及びその近親者との取引の内訳

(単位：円)

科目	財務諸表に 計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び 支配法人との取引
(活動計算書)			
給与手当(事業費)	2,409,461	—	1,060,000
賃借料(事業費)	450,000	—	450,000
活動計算書計	2,859,461	—	1,510,000
(貸借対照表)			
短期貸付金	1,000,000	—	1,000,000
貸借対照表計	1,000,000	—	1,000,000

財産目録

令和4年03月31日現在

科目	特定非営利活動に係る事業		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	77,065		
ゆうちょ銀行	426,119		
丹波ひかみ農業協同組合	1,307,937		
中兵庫信用金庫	60,000		
積立金	6,000		
短期貸付金	1,000,000		
流動資産合計		2,877,121	
2. 固定資産			
有形固定資産			
建物附属設備			
日除け設備	1,012,512		
有形固定資産計	1,012,512		
固定資産合計		1,012,512	
資産合計			3,889,633
II. 負債の部			
1. 流動負債			
1年以内返済長期借入金			
日本政策金融公庫	797,000		
未払費用			
3月分給与	225,000		
未払金等	45,318		
流動負債合計		1,067,318	
2. 固定負債			
長期借入金			
日本政策金融公庫	2,558,000		
固定負債合計		2,558,000	
負債合計			3,625,318
III. 正味財産の部			
前期繰越正味財産		▲ 1,453,256	
当期正味財産増減額		1,717,571	
正味財産合計			264,315
負債・正味財産合計			3,889,633